

釧路市教育委員会 令和5年第3回2月定例会会議録

1 日時：令和5年2月17日（金）13時30分から15時00分まで

2 会場：釧路フィッシャーマンズワーフMOO 2階 教育委員会室

3 出席者

岡部義孝教育長

（教育委員）

山口隆委員、種村俊仁委員、小出美貴子委員、靱山彩子委員

（事務局）

齋藤学校教育部長、工藤生涯学習部長、大山教育指導参事、早坂学校教育部長次長、池田総務課長、小野施設計画主幹、富田総括指導主事、澤口生涯学習部次長、松本博物館長、島スポーツ課長、石川学芸主幹、鈴木動物園長、平野ふれあい主幹、北村阿寒生涯学習課長、朴音別生涯学習課長、吉岡指導主事

4 議事録署名人 種村委員、靱山委員

5 傍聴人数 0人

6 提出案件

【公開案件】

報告事項

- (1) アミメキリン「コハネ」の死亡について
- (2) 学校の現状について
- (3) 卒業式におけるマスクの取扱いについて

7 会議内容

【公開案件】 報告事項

(1) アミメキリン「コハネ」の死亡について

(鈴木動物園長)

釧路市動物園で飼育していたアミメキリンの「コハネ」の死亡について報告する。

「コハネ」は東京都の羽村市動物公園で2012年(平成24年)6月に生まれた10歳のメスで、2014年(平成26年)5月に来園し、2019年(令和元年)には、1頭の子ども(コハク、3歳)を出産した。

コハネは昨年末頃から下痢の症状等がみられたため、餌の調整や投薬治療を行ってきたが、症状の改善が見られず、今月に入ってから餌を食べる量が減っていた。2月6日当日は外に出ず寝室で過ごしていたが、午後2時過ぎに自立が困難になり、その後、獣医や飼育員に見守られる中、午後3時47分、死亡を確認した。死因の特定については、現在検査機関にて調査中となっている。

「コハネ」は市民団体からの御寄附で導入した、オスの「スカイ」のペアの相手として釧路市動物園へやってきた個体で、来園時に開催した歓迎セレモニーでは大勢の市民の皆様がお祝いして下さったこともあり、今回の件については非常に残念に思っている。

2月9日から献花台を設けており、全国のファンの方からお花を贈っていただいている。また、併せて設置したメッセージボードには、来園した子どもたちがコハネのためにメッセージを寄せてくれ、たくさんの皆様がコハネを愛してくれていたことにあらためて感謝の気持ちでいっぱいである。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

現在動物園にいるのはキリンのオス2頭か。

(鈴木動物園長)

そうである。

(山口委員)

今後、子供の誕生や種の繁栄の継続を考えると、具体的にメスをどこからというような動きはまだないのか。

(鈴木動物園長)

現状、動物園が動物を導入する場合には、野生の動物を確保するのが難しいため、ブリーディングローンという手法を取っているが、それが繁殖目的ということもあり、動物園でキリンを導入する場合については、オスが2頭であるためメスを導入する選択になる。全国的にメスが少なくオスが多い状況で、万が一オスが生まれた場合については、うちの方で飼

育しなくてはいけないため、新たな獣舎や設備が必要になり、今の状況では新たにキリンを入れるということはできない状況である。ただ、市民に愛されているキリンであるため、状況を見ながら導入を検討していきたいと思っている。

【公開案件】 報告事項

(2) 学校の現状について

(大山教育指導参事)

3年ぶりのインフルエンザの流行で対応に戸惑いもあったが、校長会役員や養護の先生のおかげで、3年前を思い出してスムーズに対応している。コロナについては「2類相当」から「5類」に移行されるということで、道教委には「市町村教育委員会に丸投げしないように」と要望を出している。

1点目は、管理職選考の結果について、今年度は、異動の内示前に可否の判定があり校長先生を通してお知らせしている。今年度の結果を見ると、これまでの「教頭経験2校以上必要」、「複数回受検が必要」という条件はなくなり、「論文」重視であることがわかったと校長先生の方に伝えた。

2点目は、小・中ジョイントプロジェクトについて、実施報告書のお礼とまとめについて説明した。来年から小・中ジョイントが本格的に動き出す年になる。今年度は初めての取組で戸惑いもあったことと思うが、その反省を生かして計画的に実施するようお願いをした。特に家庭学習計画表については、4月から実施できるように準備をお願いした。

3点目は、授業改善記録票について、今年度使用した「授業力向上に係る記録用紙」では、対象者が明確にならず具体的な指導にならなかったことから、校長先生が実際に学校職員人事評価制度に基づいて指導している内容を記録して情報共有することにした。

4点目は、校内研修について、これまでの校内研修のあり方について見直しをお願いした。学力向上推進委員会でも、授業改善＝校内研修であることを徹底させることが必要であるとの意見が出されている。そのことも踏まえて来年度の参考にするようお願いした。

5点目は、教職員人事について、これまで担当者によって人事のやり方が違っていたが、今後、効率化して同じやり方で進められるようにという話をした。

その他の連絡事項として、教育講演会のお礼と釧路市授業マイスターの選考、退職辞令交付式についてお知らせした。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

これからの校内研修について、令和4年度と5年度の指定校である幣舞中学校と鳥取西中学校、研究紀要のない自校の授業改善の姿を見せることができる公開研究会をお願いしたいと書いている。経験上、公開研をやるときに先生方の労力を考えると、研究紀要を作る労力

がすごくあり、それが負担になることが多かった。そのところをカットして、本来的な授業をどのように作っていき、授業公開してその結果どうであったかというところに注力するのは、すごく良いことだと思っている。これは教育委員会からこうあって欲しいと言ったのか、学校から要望が上がってきたのかどちらであるか。

(大山教育指導参事)

公開研究会があるから研究指定校は受けたくありません、という話が時々出てくる。各学校に教育委員会の方からは、何のための公開研究会で、何のための研究指定校なのかとお話しさせていただき、昨年度この話の意図が一番よくわかる校長先生お二人に、研究指定校を受けてくれとお願いした。その時の条件として、新しい研究指定校のあり方、公開研のあり方を模索したいため、研究紀要はいらない、授業改善がどのように進んだかということを見えるような公開研をして欲しいというお願いをして、快くお二人の校長先生が引き受けてくれたのが、幣舞中と鳥取西中学校である。なかなか昔の考え方から抜けきれず、研究紀要や研究成果は出ているが授業を見ると何が成果かわからないという話もさせていただいた。

(山口委員)

良い傾向だと思うため、本当の意味で各学校現場に定着していける、そして先生方の意識改革も進むことを願っている。

(種村委員)

先ほど大山参事が言っていた、教職員の一般人事について、再任用ハーフとはどういうことか。

(大山教育指導参事)

再任用の勤務対応の中で、1日勤務する対応と半分で2人という対応のどちらかを退職した先生方が選んでいる。

(種村委員)

正式な教員であるが半分だけということか。

(大山教育指導参事)

60歳から65歳の再任用になったときの勤務対応が2種類あり、本人がどちらかを選んでいる。

(種村委員)

初任者指導というのは、具体的にどのような指導をしているのか。

(大山教育指導参事)

初任者指導については、一つ目は初任者が初任者研修に出る間にその学級の指導をする。二つ目はその初任者の指導をするため、初任者の授業を見てTTで授業に入ったり、放課後に授業はどうだったかという話をして指導することになっている。

【公開案件】報告事項

(3) 卒業式におけるマスクの取扱いについて

(大山教育指導参事)

卒業式におけるマスクの取扱いについて、道教委を通して文科省から通知が来たため、昨日校長会役員と協議し、次のとおりお願いした。

1点目は、基本的には文科省および道教委の通知通り動くことになる。

2点目は、児童生徒及び教職員は卒業式の全体を通してマスクを外してもいいことになる。マスクの着用は強制するものではないため、子供たちの判断で付けたり付けなかったりすることもある。

3点目は、呼びかけや合唱がある場合、飛沫が飛ぶ場合には感染予防を講じなくてはいけないということでマスクの着用を呼びかけたり練習の時にさせたり、式当日に司会の方からマスクをして歌いますというような案内をするようお願いした。

4点目は、体調不良で、インフルエンザも含めて欠席しなくてはいけない卒業生については、家庭で卒業式の状況を味わえるようにオンラインの配信をお願いしている。

5点目は、来賓や保護者の参加については原則マスクの着用をお願いする。参加人数の制限は必要なくなるが、学校規模によって保護者の数や体育館の広さによっては制限もやむなしという状況もあるため、そうなった場合にはオンライン視聴できるような対応をお願いしている。

6点目は、在校生の参加についても各学校によって違うが、参加させる場合にも体育館の広さ、参加する児童生徒数に合わせて密にならないようにしてもらう。

7点目は、健康観察の徹底をお願いした。

8点目は、今回マスク取るのが初めてであるため、保護者や児童生徒から誤解が生じないように、各近隣校で情報共有して同じような形で進めていただきたいという話をした。

9点目は、北海道の感染対策のレベルが1になったことで、2つ変わった。マスクの着用が推奨になった。これについては従来通りで推奨である。2番目の同居の家族に未診断の発症等が見られた場合に、今までは出席停止の対象になって休むよう言っていたが、レベルが1になったことで対象外になった。高校入試で子供たちに不安が多く、家族で症状があっても出てきていいとは言にくいいため、高校入試の3月2日までは今まで通りの対応にさせていただき、それ以降は対象外という対応にしたいということで、学校から保護者へ周知をお願いしている。

(岡部教育長)

特に9点目の2つめに関しては校長会とも協議のうえで釧路市教育委員会として判断した。今日、決定をいただければ本日中に発送、通信したいと考えている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

5番目に関わって、学校規模によって人数制限しなくてはいけない可能性が出てくる可能性が0ではない。そういった場合、教育委員会から退職する校長先生のいる学校に、来賓と

して一人参加していた状況があったと思うが、受け入れる学校と受け入れない学校が出てくる気がするが、私たちの出番はないという認識でよいのか。

(大山教育指導参事)

今までの流れであると参加していないため、参加する想定はしていなかった。今考えている来賓の範疇の中でマスクの対応について考えていた。

(山口委員)

人数が多い景雲中学校などでは保護者の人数制限があるにもかかわらず、教育委員会から行くというのはいかがなものかという気がする。

(岡部教育長)

私も教育委員会からの来賓の出席は望まないため、できれば地域の方々とかそういった人たちを優先するように指示していただければと。